

小金井市議会議員／情報公開こがねい 共同代表

渡辺大三 NEWS

編集発行 情報公開こがねい ○事務所 〒184-0003 緑町3-10-31
 ○電話 090(3345)6929 ○FAX 042(381)5074
 ○Email jyohou.kougai.koganei@gmail.com ○Twitter watanabedaizou



「議会基本条例」で議会を変える

現在、小金井市議会は、「議会基本条例」の制定に向けて種々の作業を行なっています。私も議会運営委員の一人として、その作業に加わっています。

大変残念なことに、今年3月の市議選までに制定しようという当初スケジュールは大きく遅延し、制定は次期の議会に委ねられることになりました。

議会基本条例は、単に議会の「内部ルール」を定める条例ではありません。

市民の皆さんと議会との関係、市長など行政側と議会との関係などを定める条例です。

私は、「市議会議員が、市長など行政側に対して文書質問ができる制度（議会が開かれていなくても質問ができる制度）の導入」「年に4回の定例議会ごとに、議会主催の議会報告会を開催し、市民の皆さんに重要事項を報告する」などを条例に盛り込むよう求めておりますが、稲葉市長の与党議員が同意しないため、現時点での案からは除外されています。

「行政へのチェック機能をきちんと果たす議会」「市民の皆さんに議会情報をきちんと公開する議会」を実現するために、より先進的で、より充実した条例をめざす必要があります。

少数精鋭の議会へ

東京多摩地区には26の市があります。このうち人口が11万人台なのは、小金井市、東久留米市、昭島市、国分寺市です。

市議会議員の定数は、小金井市と国分寺市が24名、東久留米市と昭島市が22名となっています。

財政難にあえぐ小金井市ですので、議員定数



▲ 昨年5月13日、小金井市議会史上初、議会主催の「議会報告会」が試行開催されました。私は、小金井市政最大の課題である「ごみ問題」についての報告を担当しました。多くの市民の皆さんが参加しました。

に関しても削減努力が必要だと考え、私は、自民党との共同提案で、議員定数を2減し、22名とする条例改正案を提出しました。

しかし、その条例改正案は、民主党・社民クラブ、公明党、共産党などの反対多数で否決となりました。

議会が行なった市民アンケートでも、多くの市民が削減を求めています。「身を切る努力」を怠り、市民に負担を転嫁することは許されません。引き続き議員定数の削減を強く求めてまいります。

いまの小金井市議会は・・・

現在、小金井市議会（条例定数24／現員23）は、自民党、民主党、公明党、社民党の12議員が、稲葉市長（自民党・公明党系）の与党となっています。私は野党の立場です。

「渡辺大三の市政政策2013」から いくつかの項目を紹介申し上げます

◆「高過ぎる」市役所人件費の削減を

- 3000万円を超える例が続出している小金井市職員の退職金は引き下げを求めます。
- 東京都職員より高い水準で支給されている小金井市職員の扶養手当は引き下げを求めます。
- 小金井市の係長・主任のボーナスは、東京都職員より高い率で加算措置されています。東京都と同率にまで引き下げを求めます。
- 小金井市役所の役職者（部長～係長）の人数は、東京多摩地域の同一人口市に比べて著しく多くなっています。このため、毎年3億円以上の無駄遣いが生じています。役職者の人数を同一人口市平均まで削減することを求めます。
- 市役所業務のうち、民間活力や市民活力に任せただ方が適切な分野に関しては、大胆な業務改革を提案します。生み出した財源は、市民サービスの拡充に充当します。

◆「無為無策過ぎる」ごみ処理問題の解決を

- 日野市による「国分寺市・小金井市との3市共同処理方針」の実現に向け、あらゆる環境整備を行います。
- 「生ごみ」や「ざつがみ」を可燃ごみから分離し、可燃ごみの大幅な減量を進めます。

◆「長過ぎる」賃借庁舎の解消を最短距離で

- 小金井市は、平成6年から小金井大久保ビルを第二庁舎として借りています。市民への約束だった「10年間」を大幅に超過しています。高額な賃料を支払い続けるより、質素な市庁舎を蛇の目ミン工場跡地に建てた方が割安ですので、最短距離での建設をめざします。

◆市民の「足」を便利にします

- CCCCバス北西部循環を新設し、貫井北町、桜町、本町西部などの交通不便地域を解消すると同時に、国分寺駅を利用する小金井市民や学生の武蔵小金井駅へのアクセスを便利にし、街の活性化と市内商業振興を図ります。
- 貫井南町北部などの交通不便地域の解消も視野に入れ、新規路線を提案します。
- 通勤・通学者のための駐輪場は、なるべく利便性の高い場所に十分な台数を確保します。

◆必要なまちづくりは推進、ムダな計画は徹底チェック

- 南口に顧客が流れ「最近さびしい」と言われる武蔵小金井駅北口周辺。商業活性化に向けた支援が急務です。仮線用地撤去後の北口ロータリーや沿線エリアの再整備においては、緑とうるおい、街の活性化、通勤通学者の利便に配慮した内容を求めます。
- 工事中の東小金井駅北口土地区画整理事業（駅前整備）は、地域の皆さんの利便を考慮し、早期完成をめざします。大事なことは、整備後の街の在り方です。地元の皆さんのアイデアを柔軟に活かして、緑が多く、親しみやすい街をめざします。
- 武蔵小金井駅南口第2地区再開発（完成した第1

地区の南側一帯）は、比較的優先順位が低いエリアです。現下の市財政を考慮すれば、過大な財政負担はできません。また、オーバーストア（店舗過剰）となれば近隣商業に悪影響が出ますし、これ以上の高層マンションの林立も避けたいところです。まだ全体像が明らかではありませんが、内容を十分にチェックし、市民的な議論を行う必要があります。

- 特定緊急輸送道路の沿道にある老朽マンションの耐震補強を国や都と協調して推進し、大災害の際の緊急車輛の往来を確保します。
- 避難者に苦痛を与えない避難所の在り方を市民参加で検証し、計画に反映させます。

◆子ども、子育て世代、高齢者、障がい者がいきいき暮らせる街

- 子どもたちが創意工夫しながら遊べるプレーパーク（冒険広場）の常設化を進めます。
- 校庭の芝生化をさらに進めます。
- 子どもの目線で、学校図書室の充実を進めます。
- 子どもの貧困問題に正面から取り組み、支援策を講じさせます。
- 保育園の増設などにより、待機児の解消を図ります。
- 元気な高齢者には「雇用」「集える場」を、介護が必要な高齢者には「安心」「きめ細かいサービス」を確保します。
- 障がい者の就労支援策を拡充します。市役所新庁舎にも活躍の場を確保します。

◆「市民文化」で元気に！「スポーツ」で元気に！

- 市民要望が高い図書館本館の整備を推進します。
- 駅前ホールの巨額赤字事業を厳しく監視します。民間のホール、スタジオ、画廊などへの支援策、若手アーティストへの支援策、社会教育団体への支援策を優先させます。
- スポーツ振興条例を制定し、生涯を通じてスポーツに親しむ市民を支援します。

▼渡辺大三のプロフィール▼

○昭和41年、岩手県水沢市生まれ（父は農林省東北農政局勤務）。秋田県横手市・宮城県仙台市・山形県山形市で幼少期を過ごす。○昭和50年（小学校3年生の時）、小金井市貫井北町に転入。○小金井市立本町小学校（本町）、小金井市立小金井第一中学校（桜町）・東京都立小金井北高等学校（緑町）・中央大学法学部政治学科を卒業。○河北新報社（本社＝仙台）で新聞記者。編集局勤務。○地元衆議院議員の秘書。○平成5年、小金井市議選に初当選（26歳）。以降、5期連続当選。○これまでに、議会では、議会運営委員長・予算特別委員長・行財政改革調査特別委員長・ごみ処理施設建設等調査特別委員長・議会報編集委員長などを務める。○現在、地域では、生ごみ処理を考える小金井市民協議会役員、貫井北町商工振興会事務局局長、中央大学学生会小金井支部幹事、東京都立小金井北高等学校同窓会幹事長などを務める。○46歳。